月刊 あなたにこの本を！ 平成19年8月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

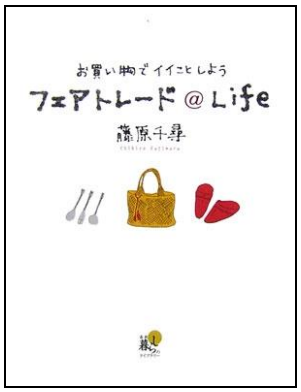
※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

地震イツモノート
ー阪神・淡路大震災の被災者167人にきいたキモチの防災マニュアルー

地震イツモプロジェクト　編
木楽舎　1500円（0011402924）

ジャンル ： 知識・教養を深める

いつ起こるかわからないからこそ、いつも考えて欲しいーーとの気持ちをこめて、阪神・淡路大震災の被災者167人の体験談をもとにまとめた防災マニュアル。通常のサバイバル本とは違い、実体験から学んだ工夫、心構えをイラストを用いてわかりやすく紹介。また、見知らぬ人同士の助け合い、長期にわたる避難所生活の様子など、被災の実態が率直に語られる。正解を示すのではなく、自分自身の立場で地震対策を考えるための手引書。〔369.3〕

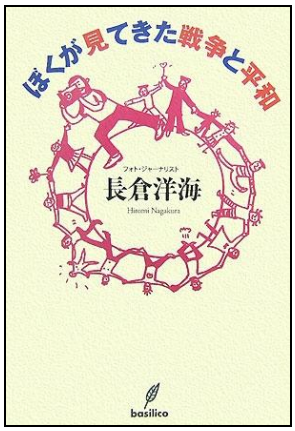


フェアトレード＠Life ーお買い物でイイことしようー

藤原千尋　著
春秋社　1785円（0011384985）

ジャンル ： 暮らしにうるおいを

通販雑誌で見たおしゃれな小物を買ったらフェアトレード製品だった。フェアトレードとは、途上国の人々が丹精した品物を適正価格で積極的に買うことで、その国の人々の生活を支援する活動だ。フェアトレード製品のコーヒー豆なら味も香りもよく、気持ちまでが満たされる。著者が主婦としての目線で、フェアトレードを知った経緯から、活用方法までを語る。買い物でできる身近な国際協力が、わかりやすく紹介されている。〔675.1〕



ぼくが見てきた戦争と平和

長倉洋海　著
バジリコ　1890円（0011417116）

ジャンル ： 現代社会を見つめる

フォトジャーナリストの著者が、写真で身を立てるまでのことや、紛争地域で出会った人々についてつづる。中でも、彼が生活を長期間ともにした、アフガニスタン抵抗運動の指導者マスードが印象的だ。困った人を放っておけない、詩を愛する若者だったマスードが、なぜ戦いをやめられなかったのか。マスメディアが伝える内容は表面的になりがちだが、著者が実際に人々と出会い、つむぎ出した言葉は、ずしりと実感をもってせまってくる。〔740.2〕

おばさん！辺境を行く

外川洋子　著　　ジャンル　：　歴史・文化に親しむ
春風社　1575 円（0011378645）
65 歳になり、念願のアンコールワットツアーに参加して旅の魅力にはまった「ふつうのおばさん」が世界各地を巡る道中記。シルクロードでは野性味あふれる珍しい形のウリやスイカを皆で味わい、宝石の産地スリランカの土産物店では、仲間と一緒に値引き交渉をして素敵なトパーズを安く手に入れるなど、旅の楽しさを十二分に満喫する。老後になって得た楽しみを深め、新たな発見や感動体験をする著者の姿は、同世代の人々の参考となる。〔290.9〕

外国語として出会う日本語

小林ミナ　著　　ジャンル　：　知識・教養を深める
岩波書店　1630円（0011374724）
「走る」は「走って」となるのに、どうして「食べる」は「食べって」とならないの？　日本語教師である著者に寄せられた、改めて問われると答えに困ってしまう日本語への素朴な疑問。本書は、日本語学習者の疑問や誤用が生まれた原因をきっかけにして、日本語の表現方法や言葉の使い方の特徴を明らかにする。日本語の面白さ、奥深さとともに、それぞれの母語の特徴や文化の違いを意識したコミュニケーションの方法をわかりやすく示す。〔810.4〕

自立クライシス　－保健室からの思春期レポート－

金子由美子　著　　ジャンル　：　子どもの成長のために
岩波書店　1785円（0011393744）
本書は中学校の「保健室のセンセー」である著者が、生徒との対話をもとに、子どもがなぜ自立できないかを考察する。いじめられていることを誰にも話せない子、親が育児放棄をしてしまった子、性被害にあった子など、抱える不安は様々だ。その根底にあるのは、子どもたちを守り、サポートするおとなの不在である。子どもが何よりも求めているのは、自分の話を聞いて、支えてくれるおとなだということが、保健室での声を通して伝わってくる。〔371.41〕

日本語は天才である

柳瀬尚紀　著　　ジャンル　：　知識・教養を深める
新潮社　1470円（0011372576）
著者は、本来日本語にはない感嘆符が、漢字仮名混じり文の中にすんなりおさまることを挙げ、日本語には「天才」的な消化力があると主張する。その天才である日本語にも罵倒(ばとう)語という苦手分野があるが、逆にそうした表現が少ないことは誇りにして良いと述べる。翻訳家である著者は長年にわたり、原文の面白味をいかに日本語で表現するか考えてきた。軽妙洒脱(しゃだつ)な語り口で述べられる日本語論は文学作品の引用も多く読みやすい。〔810.4〕

ひとりぼっちのジョージ　－最後のガラパゴスゾウガメからの伝言－

ヘンリー・ニコルズ　著　　佐藤　桂　訳　　ジャンル　：　自然・環境を考える
早川書房　1890円（0011400521）
ジョージは、ピンタ島固有のガラパゴスゾウガメの最後の生き残りである。長らく絶滅したと思われていたが、1971年に60年ぶりに再発見され、世界の自然保護の象徴的存在となっている。本書は、ジョージをはじめ、人間の乱獲や外来種の持ち込みにより、絶滅が危惧される動物や、すでに絶滅してしまった動物について、多くの事例を紹介する。繊細なバランスの上に成り立つ生態系と、人間の営みとの共存について深く考えさせられる。〔487.95〕